

教科	科 目	単位数	学年・クラス
公民	公共	2	2年1組・2組

1 使用教材

使用教科書	高等学校 新公共 改訂版
出版社	第一学習社
副教材等	令和8年度 公共ワークブック
出版社	愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会公民部門

2 学習の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育てる。

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しようとしている。諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けようとしている。
② 思考・判断・表現	現実社会の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。
③ 主体的に学習に取り組む態度	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
授業ノート	C	C	A	授業内容のまとめ方
レポート	B	B	A	自分の意見を論理的に記述できているか。
定期考査	A	B	C	知識のほか、資料の読み取り問題を含む。

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学 期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳 ③多様性 ④伝統文化のかかわり ⑤宗教とのかかわり ⑥自立した主体 第2章 人間としてのあり方 生き方 第3章 基本的原理 第2編 自立した主体 第1章 法的な主体と私たち ①法と基本的人権 ②自由に生きる権利 ③裁判所と司法 ④国民の司法参加	自らの体験などを振り返ることを通して、自ら成長させる人間としての在り方生き方について理解を深める。 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。
2 学 期	第2章 政治的な主体 ①私たちと選挙 ②選挙の現状 ③世論の形成 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥安全保障 ⑦国際平和 ⑧民族問題と地域紛争 第3章 経済的な主体と私たち ①私たちと経済 ②労働者と権利 ③日本経済 ④現代の企業	政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題の理解を深める。 解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。
3 学 期	第3章 経済的な主体と私たち ⑤市場経済 ⑥市場のしくみ ⑦経済成長と国民の福祉 ⑧金融の意義と役割 ⑨財政のしくみと租税 ⑩社会保障と国民福祉	歴史など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 少子高齢化・人口減少などの社会背景をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して考察している。